

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第12期第3四半期(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社アエリア

【英訳名】 Aeria Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 祐介

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂五丁目2番20号

【電話番号】 03-3587-9574

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 清水 明

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂五丁目2番20号

【電話番号】 03-3587-9574

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 清水 明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第11期 第3四半期連結 累計期間	第12期 第3四半期連結 累計期間	第11期
会計期間		自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 1月 1日 至 平成24年12月31日
売上高	(千円)	4,349,612	625,611	6,160,962
経常損失()	(千円)	645,504	667,448	926,131
当期純利益又は 四半期純損失()	(千円)	795,854	537,651	480,895
四半期包括利益又は 包括利益	(千円)	789,668	189,681	515,859
純資産額	(千円)	4,038,127	4,298,451	4,676,259
総資産額	(千円)	5,747,590	4,671,016	4,973,639
1株当たり当期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	154.52	109.80	94.16
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	57.2	89.6	91.8

回次		第11期 第3四半期 連結会計期間	第12期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年 7月 1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 7月 1日 至 平成25年 9月30日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)		90.68	37.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第11期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在せず、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
4. 第11期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第12期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
6. 当社は、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額又は四半期純損失金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間における、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業内容の重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析・検討内容は、当社グループの四半期連結財務諸表に基づいて分析した内容です。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策の効果により、個人消費の持ち直しや企業収益の改善など、緩やかな景気回復の動きを見せております。一方で、新興国をはじめ海外経済の減速など懸念材料もあり先行きは不透明な状況が続いております

当社グループが属するオンラインゲーム関連市場は、従来のPCオンラインゲームに加え、スマートフォンやタブレット端末の普及による利用者数の拡大を背景に、引き続き順調に成長を続けております。これに伴って、Android/iOSをはじめとするプラットフォームの多様化が進み、各社の提供コンテンツやアプリケーションサービスはますます複雑化・高度化する傾向にあるなど、企業間におけるユーザー獲得競争は今後も激化するものと予測されます。

このような環境のなか、当社グループはオンラインゲームの配信・運営事業を強化し、幅広いユーザーへ向けたクオリティの高いサービスを提供してまいりました。

また、スマートフォンを含むモバイルコンテンツの開発分野にも注力し、各ライセンサーと協力を深めながら、多様化する顧客ニーズに合ったサービスの提供に努めてまいりました。

前連結会計年度からオンラインゲーム事業においてはAeria Games & Entertainment, Inc.、ITサービス事業においては株式会社スリーエスを連結除外したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上高が減少しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高625,611千円（前年同期比85.6%減少）、営業損失470,309千円（前年同期は営業損失584,745千円）、経常損失667,448千円（前年同期は経常損失645,504千円）、四半期純損失537,651千円（前年同期は四半期純損失795,854千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(オンラインゲーム事業)

オンラインゲーム事業につきましては、当社はオンラインゲームの配信を行っております。

市場の競争激化により既存タイトルの課金収入が伸び悩み売上高が減少しており、また開発費、広告宣伝費等の積極的な先行投資により費用が増加しております。

前連結会計年度からAeria Games & Entertainment, Inc.を連結除外しております。

以上の結果、売上高は163,930千円（前年同期比95.5%減少）、営業損失は494,069千円（前年同期は営業損失614,880千円）となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴いデータサービス事業を行う株式会社エアネットは安定した収益を獲得しております。

前連結会計年度から株式会社スリーエスを連結除外しております。

以上の結果、売上高は488,141千円(前年同期比39.9%減少)、営業利益は25,969千円(前年同期比54.8%減少)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、営業損失2,142千円(前年同期は営業損失24,062千円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,671,016千円で、前連結会計年度末に比べ302,622千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ621,851千円減少し、2,473,034千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ319,229千円増加し、2,197,982千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ72,973千円減少し、180,286千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ148,159千円増加し、192,278千円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上並びに自己株式の買付等に伴い、377,808千円減少し、4,298,451千円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、78,052千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重大な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,340,000
計	11,340,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,299,200	5,299,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株 (注2)
計	5,299,200	5,299,200		

(注) 1. 「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

2. 平成25年7月1日付けの株式分割により1株を100株の割合で分割し、単元株制度を採用しております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日 (注1)	6,731,208	6,799,200	-	236,772	-	446,985
平成25年8月20日 (注2)	1,500,000	5,299,200	-	236,772	-	446,985

(注) 1. 平成25年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、所有株式数を1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

2. 自己株式の消却による減少であります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 429,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,869,900	48,699	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	普通株式 5,299,200	-	-
総株主の議決権	-	48,699	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アエリア	東京都港区赤坂 五丁目2-20	429,300	-	429,300	8.10
計	-	429,300	-	429,300	8.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425,630	1,809,863
受取手形及び売掛金	87,407	78,912
商品	2,877	2,073
短期貸付金	414,000	414,000
未収入金	130,208	127,029
繰延税金資産	702	2,336
その他	35,582	41,389
貸倒引当金	1,521	2,571
流動資産合計	3,094,886	2,473,034
固定資産		
有形固定資産	93,299	85,300
無形固定資産	15,250	232,052
投資その他の資産		
投資有価証券	594,763	1,006,885
関係会社株式	424,472	317,365
長期貸付金	604,057	604,057
繰延税金資産	5,696	6,707
その他	179,775	71,909
貸倒引当金	38,562	126,296
投資その他の資産合計	1,770,202	1,880,629
固定資産合計	1,878,752	2,197,982
資産合計	4,973,639	4,671,016
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,353	22,799
未払費用	129,970	58,875
未払法人税等	2,793	8,455
賞与引当金	500	2,400
繰延税金負債	-	459
その他	99,642	87,297
流動負債合計	253,260	180,286
固定負債		
繰延税金負債	25,062	171,720
退職給付引当金	10,069	11,453
資産除去債務	8,986	9,104
固定負債合計	44,119	192,278
負債合計	297,379	372,565

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	236,772	236,772
資本剰余金	6,472,505	4,980,540
利益剰余金	466,490	1,004,142
自己株式	1,700,778	395,643
株主資本合計	4,542,007	3,817,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,954	338,603
為替換算調整勘定	3,560	27,834
その他の包括利益累計額合計	23,515	366,437
新株予約権	1,748	1,748
少数株主持分	108,989	112,739
純資産合計	4,676,259	4,298,451
負債純資産合計	4,973,639	4,671,016

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,349,612	625,611
売上原価	3,193,685	618,874
売上総利益	1,155,927	6,737
販売費及び一般管理費	1,740,673	477,046
営業損失()	584,745	470,309
営業外収益		
受取利息	7,629	16,400
受取配当金	3,489	12,512
為替差益	-	11,081
負ののれん償却額	265	-
受取補償金	17,587	-
匿名組合投資利益	-	23,859
その他	8,086	1,622
営業外収益合計	37,058	65,477
営業外費用		
支払利息	28,441	-
為替差損	13,459	-
持分法による投資損失	45,813	102,773
貸倒引当金繰入額	-	158,777
その他	10,101	1,065
営業外費用合計	97,817	262,617
経常損失()	645,504	667,448
特別利益		
固定資産売却益	83,695	-
投資有価証券売却益	33,674	146,594
関係会社株式売却益	36,737	-
新株予約権戻入益	75,100	-
持分変動利益	37,288	-
その他	-	1,000
特別利益合計	266,496	147,594
特別損失		
固定資産除却損	955	-
減損損失	365,871	2,583
その他	14,233	-
特別損失合計	381,059	2,583
税金等調整前四半期純損失()	760,068	522,437
法人税、住民税及び事業税	28,776	13,650
法人税等調整額	2,904	2,186
法人税等合計	31,681	11,464
少数株主損益調整前四半期純損失()	791,749	533,901
少数株主利益	4,104	3,749
四半期純損失()	795,854	537,651

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	791,749	533,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,107	317,234
為替換算調整勘定	1,949	27,834
持分法適用会社に対する持分相当額	7,975	849
その他の包括利益合計	2,081	344,219
四半期包括利益	789,668	189,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,772	193,431
少数株主に係る四半期包括利益	4,104	3,749

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	該当事項はありません。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	267,250千円	65,042千円
のれんの償却額	12,927千円	千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 株主総会	普通株式	125,831	2,200	平成23年12月31日	平成24年3月30日	その他 資本剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成23年12月2日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、また平成24年6月15日開催の取締役会における決議に基づき自己株式の取得を行いました。

この自己株式の取得により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,673,384千円となりました。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 株主総会	普通株式	109,175	2,200	平成24年12月31日	平成25年3月29日	その他 資本剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成25年8月13日開催の取締役会決議に基づき、平成25年8月20日付で自己株式1,500,000株の消却を行っております。これにより、その他資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,382,790千円減少しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金の残高は4,980,540千円、自己株式の残高は395,643千円であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン ゲーム (千円)	ITサービス (千円)	その他(千円)			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,612,915	729,390	7,307	4,349,612	-	4,349,612
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,734	83,093	-	112,828	112,828	-
計	3,642,650	812,483	7,307	4,462,441	112,828	4,349,612
セグメント利益又は損失()	614,880	57,482	24,062	581,461	3,283	584,745

(注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は、以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるアエリアエステートの保有する不動産を売却したことに伴い、前連結会計年度末に比べ「その他」セグメントの資産が807,451千円減少しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、365,871千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、Aeria Games & Entertainment, Inc.の普通株式を取得したことよりのれんを認識しております。なお当該事象によるのれんの増加額は、39,729千円となっております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	オンライン ゲーム (千円)	ITサービス (千円)	その他(千円)			
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	162,240	463,370	-	625,611	-	625,611
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,689	24,770	-	26,459	26,459	-
計	163,930	488,141	-	652,071	26,459	625,611
セグメント利益又は損失()	494,069	25,969	2,142	470,242	66	470,309

(注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額でありま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフト
ウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、2,583千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 9月30日)
1 株当たり四半期純損失金額 () (注 3)	154円52銭	109円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 () (千円)	795,854	537,651
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 () (千円)	795,854	537,651
普通株式の期中平均株式数(株)	5,150,400	4,896,538
潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額 (注 1、2、3)	-	-
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの 概要	-	-

- (注) 1. 前第 3 四半期連結累計期間における潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在せず、また、1 株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 当第 3 四半期連結累計期間における潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1 株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
3. 当社は、平成25年 7 月 1 日付けで普通株式 1 株につき普通株式 100 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社アエリア
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 水野友裕 印

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 藤田英之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アエリアの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アエリア及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。